

ラオスの こども通信



66号
2016年4月発行

発行：(認定)特定非営利活動法人 ラオスのこども

- 1,000人超の中等学校2校に図書館オープン ▶ p.1
- はじめる・つながる・つくりだす [2015.11-2016.3]
ラオス発 ▶ p.2 日本発 ▶ p.3
- みんなでボランティア ▶ p.4
- 活動報告会 ▶ p.4
- メコンのほとり「交」 ▶ p.4



写真の説明はp.4をごらんください。

1,000人超の中等学校2校に図書館オープン

2016年3月、ヴィエンチャン都郊外の大規模中等学校、2校で図書館がオープンしました。
開設支援をした当会にとっても、かつてないチャレンジとなりました。

進学する生徒が急増 学校が追いつかない！

ラオスでは国連が推進したミレニアム開発目標 (MDGs) の成果もあり、ほとんどの子どもが小学校に入学するようになってきました。その結果、中等学校 (日本の中学校・高等学校に相当する7年制の学校) に進学する生徒が急激に増加。首都ヴィエンチャンでは、小学校卒業者のほとんどが中等学校に進学するようになりました。

進学する生徒が増えたことは喜ばしいことですが、先生の数や教室の数は急には増えません。今回の事業地である2校は、生徒数が1,000人を超えているにもかかわらず、今まで図書館はおろか図書室也没有でした。中等学校で学ぶ生徒たちは、これからのラオス社会の中核を担っていく人材となるはずです。そのような生徒たちの教育環境改善のためのプロジェクトとして、ひとつは3月4日、ノーンサアット中等学校 (サイセター郡) に、もうひとつは3月7日、ポントーン中等学校 (ナーサイトン郡) にオープンしました。



完成した図書館



図書館オープン・セレモニーでは、いろいろな学年が混ざり合って絵本の「3びきのやぎのがらがらどん」を演じました。研修のときより格段によくなっていました。しっかり練習したようです。(同校)



豊かな口承文化を持ち太鼓を鳴りしながら詠唱するラオスの伝統を図書の研修に取り入れ、本に親しむ気持ちを養っていきます。(ノーンサアット中等学校)

ミレニアム開発目標 (MDGs) と新たな目標

国際社会の目標として国連が2000年に採択し、2015年をゴールとした「ミレニアム開発目標」の一つに初等教育の完全普及の達成が掲げられました。

2016年からは新たに「持続可能な開発目標」(SDGs) として就学前教育 (幼児教育) と中等教育の普及も加えられました。

これら教育目標で重視されているのは、就学率を上げるだけでなく、学びがしっかり身につくよう教育の質を高めることです。そのための重要なカギとなるひとつが学校図書室 (館) の普及と継続的な活用です。

本の楽しさをしっかり伝えてこそ

今回のプロジェクトでは、従来の空き教室を利用した図書室では狭いことから、独立した図書館を建設し、子どもたちが読書を楽しんだり、落ち着いて勉強したりできる空間となりました。

一方、図書の準備や教員・生徒への研修は、ラオス事務所のスタッフたちが、学校図書室開設とサポートの経験を活かして実施。授業で図書館の本を使う「調べ学習」も取り上げました。

研修では、通常よりも実習の時間をたっぷり取り、知識やスキルだけでなく読書の楽しさをしっかり伝えました。両校において、教員・生徒ともに熱心に、また楽しみながら図書館運営や図書の活用について学ぶ姿が見られました。



化学の教科書を見ながら、化学式の計算をしています。一人の子があとの二人に計算を教えていました。(ポントーン中等学校)



料理のレシピ本を一生懸命に写していました。(同校)

大きなチャレンジ、試行錯誤

このプロジェクトで、私たちはふたつの大きな挑戦をしました。ひとつは建物の建設を手掛けたこと、もうひとつはこれまでになく大規模な学校を対象としたことです。建築については、現場で進捗管理するラオス事務所のスタッフは素人ばかり。初めて見る図面を読み解き、建築業者とのやり取りに四苦八苦しなごうのことでした。

一方、大規模校を対象としたため、研修や開設準備などについて、従来の方法を発展させて、大規模校にフィットするやり方で行う必要がありました。当初、ラオス人スタッフたちは教員・生徒数の多さに圧倒されていましたが、試行錯誤しながら準備や研修を実施してきました。

今回のプロジェクトはまもなく終了しますが、私たちはここで経験を活かし、他の大規模中等学校にも図書館をオープンしたいと考えています。私たちの新たな挑戦は始まったばかりです。引き続き応援よろしくお願い致します。

*このプロジェクトは外務省と連携した日本NGO連携無償資金協力「中等学校の図書館整備事業」として実施しています。

(政岡史織／ラオス事務所)



図書委員の第一歩が始まります。他校でも生徒たちは書架の整理や貸し出しなど責任感強く担っていて、頼もしいです。(同校)

はじめる・つながる・つくる

ラオス 発



小学校2校に図書を贈呈

絵本出版に支援をいただいている株式会社すかいらーくによる図書贈呈式が11月25日、ヴィエンチャン都のサーティット小学校とタンミーサイ小学校で行われました。すかいらーくから2人、ともに協力いただいている東京アライドコーヒーロースターズ株式会社から2人が贈呈式に参加。



「本をたくさん読んで、しっかり勉強してください」と子どもたちに語りかけ、図書と一緒に支援者の想いが届けられました。

新しい図書室が次々オープン

「わたしたちの学校に図書室を!」という声がラオス各地から届くなか、このたび、次の方々のご支援で3か所の図書室が開設できました。

福岡那の香ライオンズクラブ ヴィエンチャン県サナカム郡サナカム中等学校 (10月13日)

杉原繁治 サワンナケート県ソンプリー郡コンパトゥムワン小学校 (12月4日)

ラオスの子どもとつながる会
ヴィエンチャン都サイセター郡
ナーサンパイ小学校 (2月4日)



オープンした図書室で、さっそく絵本の世界に入っています。

出版についての研修

12月10日から2日間、当会ラオス事務所で出版についての研修を行い、出版社の編集者、当会スタッフなど約10人が参加しました。講師は日本の出版社での経験が長い新藤雅章当会理事が務め、「子どもは何を読みたいか、それをどう見つけるか」「登場人物の顔、読み手の好み」「どんな絵本を読ませたいか」「著作権」などについて取り上げました。ラオスでは子ども向けの本の出版が広がりつつありますが、質の高い本の編集が課題です。また、著作権についての意識がなかなか定着しない現状があります。「人のものを借りるときは、挨拶してから借りるでしょ」と基本を徹底しました。支援：一般財団法人ゆうちょ財団 国際ボランティア貯金センター NGO 海外援助活動助成事業



学んだことをしっかりとノートをとるよう指導

<出版プロジェクト>

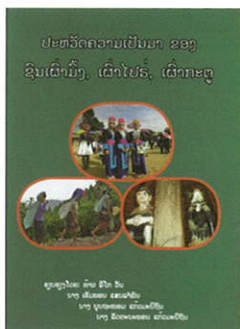
若者たちによる文化紹介、「暮らし」「祭り」「食」を出版

2014年に実施した「ラオス各民族の若者のための出版研修」(詳しくは通信62号。当会ホームページでご覧になれます)では、ラオス全17都県中10県から参加した25人の若者が、それぞれ自分の民族の生活や風習について原稿を執筆しました。このたび、その研修の成果を「暮らし」「祭り」「食」の3つのテーマで出版することができました。

読んだ人からは、「写真がたくさん使われていて、わかりやすい」「それぞれの民族の人がどのような生活をしているのかが想像できる」「同じ国に住む他の民族や、他の地域人たちの文化や信仰について初めてよく知ることができた」という感想が寄せられています。

『モン族、プライ族、カトゥ族の歴史と暮らし』

作者：リーコー ワンほか3人
部数：2,300部

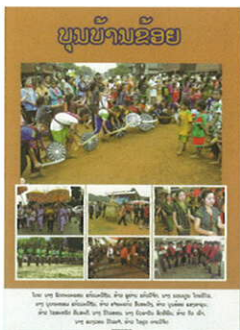


ルアンナムター県のモン族、サイニャブリ県のプライ族、セコン県のカトゥ族のそれぞれの風習、生活様式をまとめました。伝統儀式、伝統的な家の作りなどが詳しく紹介されています。

支援：絵本出版募金、クラウドファンドの支援者のみなさん

『私の村の祭り』

作者：ラタナポン ケオマニタンほか11人
部数：2,500冊

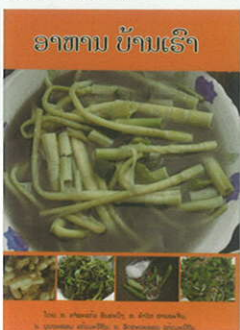


各地で行われている祭りを綴っています。タリエン族、タイダム族、モン族、クム族といった民族特有のものから、サムヌア地方、シェンクワン地方、カムムアン地方など、13にわたる祭りが地域色豊かに紹介しています。

支援：ゆうちょ財団

『私の村の料理』

作者：カムバケオ インタヴォンほか3人
部数：3,000冊



ラオス各地に伝わる料理、北から南まで22種類を集め、その作り方を写真とともに紹介しています。身近な筍を使った料理だけでも5種類。ラオスのおふくろの味「ケーン(スープ)」も地方によっていろいろ。特色があるサムヌア地方の料理は7種類載っています。

支援：ゆうちょ財団

日本 発

丸の内、クリスマスツリーの横で

11月27日、株式会社三菱東京UFJ銀行主催のMUFG Gives Back イベントが東京駅すぐのKITTEビル内の大きなクリスマスツリー横で行われました。グローバルボランティアイベントとして当会ははじめNGO4団体が参加しました。ラオス語絵本づくりを銀行員の方たちが体験。また、仕事帰りサラリーマンが当会の人気グッズであるハート形ストラップを子どものお土産にと買っていかれるなど多くの人に足を運んでいた



(岸朋美/インターン)

ピーマイ(ラオスの正月) パーティ、着々準備中!

来る4月23日、今年もラオスのお正月を祝うピーマイパーティを大田区・池上会館で開催します。テーマは「ラオスへようこそ」。まるでラオスにきたような雰囲気イベントを目指し、スタッフ、ボランティアで準備を進めています。

また今年は、このイベントが参加者の方々にとって今後ボランティアなどのアクションを起こすきっかけになればと、

料理や絵本、ラオスの旅、ボランティアなど様々な話題でしゃべりや意見交換ができる時間を設けました。お友達や知り合いを増やす機会にもなると思います。

もちろん今年も美味しいラオス料理、パーシー体験やステップダンス教室などの楽しいプログラムもあります。さらにパワーアップしたピーマイパーティに、ぜひお友達やご家族をお誘いの上、お越しください。お待ちしております!

(佐藤 由理/インターン)



当会自慢のラオス料理。おかわりできます!



伝統の「パーシー」式(2015年。上も)

みんなでボランティア

イベントの企画はドキドキと 力を合わせる楽しさ満載!

古谷理恵さん(インターン)

大学のラオス研修で現地事務所を訪問したことが、ラオスのことと繋がるきっかけとなりました。「ボランティア」や「国際協力」という言葉には小学生の頃から惹かれていましたが、行動に移すまでにはかなり長い時間が経過してしまいました。

私はイベントの担当をし、現在はピーマイパーティの準備を進めています。来て下さった方が笑顔になり、多くの人と出会える企画をつくることは楽しいです。ですが、イベントの実現に向けて考えることは楽なことばかりではない、ということが企画者になってみて分かりました。時間や資金が無制限にあるわけではないですし、一人だけでは自分の中にある構想でしか進んでいきません。様々な方に意見を出してもらうことで、多くの人にサポートして頂いていることが分かります。イベントの成功に向けて皆で力を出し合っていく。そういった雰囲気が私は好きです。責任ある仕事にドキドキの連続ですが、たくさんの思いが詰まったものを形に出来たら、と思います。



2015年のピーマイパーティ。ラオスの民族衣装をまとうて。右が古谷さん

活動報告会

「子どもと本をとりまく ラオスの今」 (2016年2月20日 ライフコミュニティ西馬込)

2015年1月に子どもセンターのスタッフを対象とする「棒人形劇」といりろゐな遊びのワークショップ」(通信63号掲載)を、同年12月には出版に関する研修を実施(本号p2)。その講師を務めた専門家3人から報告を受け、子どもと本を取り巻く「ラオスの今」について意見交換しました。人材育成の継続的な取り組みの重要性が再認識された報告会でした。

メコンのほとり交

気軽に行けるくつろぎの場、ラオス事務所図書館

ラオス事務所図書館には、毎日たくさんの子どもたちが来ています。学校の昼休みや放課後を利用して訪れています。男の子も女の子も来ますが、女の子のほうが多いという印象を受けます。

図書館といっても、本を読むための場所ではありません。何かをつくったり、折り紙をする子もいれば、スマートフォンをいじる子もいます。

自分も、何度か工作教室を行いました、いろいろな工作を楽しんでくれていました。このように、自分の好きなことができる時間を過ごせて、多くの子どもたちの笑顔がある、気軽に行けるくつろぎの場がラオス事務所図書館だと感じます。

(原一貴/ラオス事務所インターン)

表紙の写真

ある日のヴィエンチャン事務所併設図書室の一コマ。彼女たちは図書室の常連さん。事務所近くにある中等学校に通っていて、お昼休みに図書室に連れだってやってきます。読んでいるのはタイのティーンズ向け雑誌。内容はアイドルのこと、ファッションのこと、占い、恋愛のことetc. ハートやピンク、お花など可愛いものが大好き! 女子中学生の興味や関心、好きなものはラオスでも日本でも一緒です。仲良しの友達と寝転がって好きな雑誌を思い思いに読んでおしゃべり。きっと世界中の女の子たちにとって最高に楽しい時間の過ごし方のひとつですよね?

特定非営利活動法人 ラオスのこどもの目的は、子どもたちが自らの力を伸ばし、人生を主体的に選択でき、公正で平和な地球社会づくりに貢献することです。教育が十分に普及していない地域のひとつラオスで活動し、ラオスと日本をはじめ子ども、人々の参加を通じて、だれもが成長の機会を得ることをめざします。

ラオスのこども通信 66号

2016年4月発行 編集人: 森 透
発行: Action with Lao Children / Deknolao
(認定) 特定非営利活動法人 ラオスのこども
〒143-0025 東京都大田区南馬込6-29-12 ミキハイツ303
TEL/FAX 03-3755-1603
e-mail: deknolao@yahoo.co.jp
http://deknolao.org
都営地下鉄浅草線 西馬込 南口下車 徒歩7分
郵便振替 00140-6-462494

これからの予定 2016年4月~6月

2016年も活動ミーティングを奇数月、勉強会を偶数月、それぞれ第3土曜日に開催します(一部異なる日もあります)。

<活動ミーティング>

現地報告、国内イベントの打ち合わせ、会の運営の意見交換などを行います。
5/21(土)

<勉強会>

今回の勉強会は企画調整中です。内容や会場とあわせ、詳細はホームページでお知らせします。

<イベントスケジュール>

日程: 4月23日(土) ラオスのお正月 ピーマイパーティ2016
会場: 大田区池上会館
時間: 13:00~16:30
※詳細は別紙チラシをご覧ください。

日程: 5月28日(土)29日(日) ラオスフェスティバル2016
会場: 代々木公園イベント広場
時間: 10:00~19:00
※詳細はHPにてお知らせします。

青いシャツが原くん

